

“マスク緩和” 1週間 人々の意識に変化は？ つけている人、外している人、実際に数えてみた【静岡】

3/22 静岡第一テレビ



<https://news.yahoo.co.jp/articles/24ac75ee27644fe739d6de70c22bb31b913194bc>

新型コロナ対策としてのマスク着用が「個人の判断」に委ねられてから1週間が経ったが、人々の意識に変化は出ているのだろうか？ つけている人、外している人、実際に数えてみた。

3月21日、静岡市葵区の駿府城公園には桜の木の下で写真を撮る人の姿が多く見られた。ウェザーニュースによると、(※20日時点)駿府城公園の桜は3月30日には満開になる見込みだという。

21日は祝日ということもあり、にぎわいを見せていた駿府城公園。訪れた人に「マスク着用の判断」について話を聞いてみると・・・

(40代女性)

「私は13日からあえて、試験的にバスの中とかも公共の場でも外してみた 会社でもしてる人はしてるという感じだったのでずっととっている たぶん(13日から)1回もしてないかも」

(30代女性)

「外など一人で動いているときは外すが、会社の中は周りに合わせるので、会社だと絶対にしてそれ以外は結構外している」

(30代男性)

「自分はもう仕事以外は外している」「楽というかストレスがない」

(30代女性)

「建物内とかはみんなまだマスクしてるし、怖いし、建物内ではつけているけど屋外では外す」

この日公園を訪れた人を数えてみると、100人中79人、およそ80%がマスクを着用していて、マスクを外していたのは20%にとどまっていた。

一方こちらは、観光施設の「三島スカイウォーク」

21日はあいにくの“くもり空”で富士山は見えなかったが……

(坂井太一記者)

「祝日ということもあり多くの観光客で賑わっています」

インバウンドや団体客も、ことしに入ってから徐々に増えてきているという。屋外の観光施設での“マスクの着用状況”は…？

(埼玉から来た観光客)

「緩和されたから 単純につけていると疲れる」「外に出るときは比較的マスクを取っている」

(山梨から来た観光客)

「マスクをつけ慣れた環境になってしまったので取るのが不安」

「いい空気を吸いたいなと思って外しました」「一応ポケットに入れている つけたり外したりその場所によって変えていこうと思う」

来場者を数えてみると“緩和初日”となった3月13日は70%の人がマスクを着用、外していた人は30%だった。そして、21日は…つけている人が78% 外している人は22%

多くの人がマスクを着用していて、1週間が経っても大きな変化は見られなかった。

施設では、これまで、観光客に「マスクの着用」を呼び掛けていたが、先週から「張り紙」を外し、観光客の判断に任せることにしている。

一方で、スタッフは観光客と会話することもあるため引き続きマスクの着用を継続するという。

(三島スカイウォーク広報 野田依利さん)

「これから春になり桜の時季になるので屋外施設として空気を吸ってほしいですが、マスクの着用は個人の判断となる」

“マスクなし”が当たり前の光景になるにはまだ時間がかかりそうだ